

## 平成24年度第1回美術館運営協議会 要録

平成24年8月29日(水)

練馬区役所 庁議室

出席委員 粟津則雄会長 高橋幸次副会長 青木茂委員 伊豆井秀一委員  
大橋皓也委員 佐藤康宏委員 井出洋一郎委員 小川けいこ委員  
米沢ちひろ委員 松村良一委員 土屋ひろとし委員 中島悠子委員  
安斉紀子委員 畑浩二委員 伊藤定夫委員 宮澤歳男委員  
堀井安伸委員 吾妻彰委員

欠席委員 松本透委員

区職員 志村区長 中村地域文化部長 小金井文化・生涯学習課長  
若林館長 中野副館長 内田次席 野地学芸員 上山学芸員  
小野学芸補助員 真子学芸補助員 加藤学芸補助員

館長：皆様こんにちは。

本日はお忙しい中、また、お暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまから、平成24年度第1回練馬区立美術館運営協議会を開催いたします。

私は、美術館長の若林と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、机上に配布いたしました次第の1、委嘱状の交付から、3の区長あいさつまで、私が進行をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

館長：それでは、次第の1、委嘱状の交付から始めさせていただきます。

志村区長より新委員の皆様お一人お一人へ委嘱状をお渡しいたします。本日、ご欠席の委員には後日、送付させていただきます。

< 委員に委嘱状交付 >

館長：続きまして、志村区長よりご挨拶を申し上げます。

< 区長挨拶 >

区長：日頃より美術館運営にご協力をいただきありがとうございます。美術館が平成60年に建設されて27年が経過いたしました。その間、練馬区職員のみで運営された時代から、3年前に民間から新館長を迎え

てから、美術館の鑑賞者が年々増え、10万人近くのお客様にきていただけるようになりました。このことは、館長およびここにいらっしゃる運営協議会の皆様のご支援、ご協力のおかげです。ありがとうございました。さらに館長の斬新な発想が発端となり、現在、美術館の隣の美術の森 緑地を芝生にして、美術館と一体的に活用し、屋外美術展などができるようにと基本構想を検討しています。今後も、練馬の文化芸術の拠点として、「練馬区立美術館ここにあり」との評判を高めていきたいと思えます。

そのためにも、さらなる皆様のご協力、ご指導をいただき、多くの区民の方や全国の鑑賞者のために喜んでいただける運営をよろしくお願いいたし、本日の挨拶とさせていただきます。

#### < 職員紹介 >

館 長：つぎに、本日出席をしております区の職員を紹介させていただきます。先ほど挨拶をいただきました中村地域文化部長、小金井文化・生涯学習課長です。引き続きまして、美術館職員を紹介させていただきます。

#### < 委員自己紹介 >

館 長：当運営協議会も14期目を迎え、条例を改正いたしまして、新たに公募区民の方々にお入り頂いております。また、調査・検討の部会を設置できることになっておりますので、ご報告申し上げます。それでは、委員の皆様にご自己紹介をお願いいたしたいと存じます。資料1ページをお願いいたします。粟津委員から順にお願いいたします。

#### < 委員長・副委員長選出 >

館 長：つぎに、次第の3、会長、副会長の選出ですが、資料の2ページを参照願います。運営協議会条例の第6条第2項には、「会長および副会長は、委員が互選する。」と規定されております。選出については、いかがいたしましょうか。ご意見がございましたらどうぞお願いいたします。

委 員：お忙しい中とは存じますが、前期に会長であった粟津さんに、引き続き会長をお願いできればと思っておりますが、いかがでしょうか。また、副会長は会長にご推薦をお願いできればと思っておりますが、いかがでしょうか。

館 長：ただいま委員から、会長には栗津則雄委員を、副会長は会長のご推薦で、との提案がございましたがいかがでしょうか。

<「異議なし」の声 拍手>

<席の移動>

館 長：全会一致で、会長には栗津則雄委員が選出されました。

それでは、栗津会長、副会長のご推薦をお願いします。

会 長：副会長には、高橋幸次委員にお願いしたいと思います。

<「異議なし」の声 拍手>

館 長：全会一致のようでございます。ご協力ありがとうございました。

会長は栗津則雄委員、副会長は高橋幸次委員が選出されました。どうぞよろしくお願ひいたします。

会長、副会長は席の移動をお願いいたします。

<会長、副会長挨拶>

館 長：それでは、会長、副会長から就任のご挨拶をお願いしたいと思います。

会 長：微力ではございますが、一生懸命に頑張りますのでよろしくお願ひします。

副会長：引き続き会長を補佐してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

会 長：それでは、議事に入る前に、本日の委員の出席状況について、事務局から報告してください。

館 長：現在、委員 19 名中、18 名の出席でございます。また、本日欠席の、委員から委任状を提出していただいております。運営協議会条例第 7 条により、本協議会は成立いたしました。以上ご報告いたします。

会 長：ありがとうございます。

はじめに、本日の議事の進行についてお諮りいたします。

次第の 4、平成 23 年度事業報告から順次、事務局から説明を受け、各議題ごとに質問等を受けたいと思いますがいかがでしょうか。

<異議なしの声>

会 長：それでは、次第４の「平成２３年度事業報告」について、事務局から説明をお願いします。

<「平成２３年度事業報告」について説明・・・館長>

会 長：「平成２３年度事業報告」について、質問などがありましたらお願いします。

委 員：私の感想をお伝えしたい。地方から友人が先日遊びにきて、練馬区立美術館の展覧会を新聞記事で知り、来館したそうです。ここは、交通の便も良いし、これからもどんどん新聞に掲載するとよいと思う。

委 員：私も意見を申し上げ、参考にさせていただければと思います。  
練馬区立美術館に民間の力が必要であると申し上げて１０年。この間、区民の方から鑑賞したい展覧会がないとの意見もいただいた。  
芸術は数字にはでないと言われていたが、民間の力を導入したことで、すばらしい芸術が、宣伝力により多くの方が鑑賞できるようになった。  
各展覧会でも鹿島茂コレクションには、鹿島先生が来られ、磯江展にはご家族の方が来られた。  
松岡展には、先代の水谷八重子さんを作者が描かれたこともあり、お嬢さんの水谷八重子さんが来館してくれた。練馬文化センターの名誉館長に野村万作さんが就任したように、練馬の文化が今後も注目を浴びていくようにして欲しい。

会 長：「平成２３年度事業報告」について、了承とさせていただきます。  
つぎに、次第５の「平成２４年度事業計画」について、事務局から説明をお願いします。

<「平成２４年度事業計画」について説明・・・館長、学芸員>

会 長：「平成２４年度事業計画」について、質問等がありましたらお願いいたします。

委 員：スクールプログラムに隣接している、当館近くの富士見学園の生徒さんの見学が多い。ほかの小中学校の児童・生徒の方も駅から近い美術館なので、企画展などの芸術に触れられる鑑賞の機会を増やす努力をしていただきたい。

館 長：資料の18ページをご覧ください。多くの児童・生徒の方にお越し頂くべく、ティーチャーズデーを設け企画展ごとに先生のためだけの説明会をしていますが、それほど多くの先生方の参加はありませんでした。

学芸員：学校の生徒作品展の開催の際に、来館してくれた生徒の方に是非とも同時に開催している展覧会を鑑賞していただけないものでしょうか。

委 員：中学校の立場から話をさせていただきます。学校の生徒作品展に来たついでに、展覧会を見ていけないかとのお話がありました。私どもは生徒の指導が大変であることや、美術館にご迷惑をおかけする等の心配から寄らないでいました。そのことをお許していただけるのであれば、寄らしていただきたい。

いま、各学芸員の説明を聞いていて私も鑑賞してみたいと思いましたので、是非、見学の際に解説していただくと生徒の関心も高くなると思います。

また、学校の事業計画は1年前から計画しておりますので、事前に教えていただけると行ける学校もあると思います。

練馬区の児童・生徒が練馬区の美術館に行く経験は、大人になった時の記憶に残ると思います。

スクールプログラムも校長宛に送っていただいておりますが、美術の先生に直接送るか、校長経由で（美術の先生に）渡してほしいと具体的に依頼していた方がよいと思います。

また、美術の先生方で、美術研究会があるので、説明にきていただくとよいと思います。

学芸員：先生方からも同様のご要望をいただいているので、年内に伺いたいと考えています。

館 長：今後はより緊密な連携をとり進めていきたいと思います。

会 長：平成24年度の事業計画については、承認とさせていただきます。つぎに、次第6の「今後の展覧会予定」について、説明をお願いします。

< 「今後の展覧会予定」について説明・・・学芸員 >

会 長：「今後の展覧会予定」について、質問等がありましたらお願いします。

委員：美術館のコレクションの展覧会について、仲間から「鑑賞したい。特に古いもの、懐かしいものが鑑賞してみたい。」との声があり、写実、抽象、水彩等をテーマとした展覧会が出来ないかと思っていた。  
平成25年度に開催予定の「練馬の宝コレクションの精華」は、いい企画を考えてくれたと思う。今後も継続してください。

委員：各展覧会の予想人員について、どのように決めているのですか。

館長：過去の同様の展覧会の観覧者数、ほかの美術館で同様のジャンルでの観覧者数などを総合的に判断して、1日あたりの目標人数を決めて、会期日数をかけて決めています。  
目標人数により、ちらしや入場券の印刷枚数を決めています。

会長：「今後の展覧会予定」について、質問がなければ、了承とさせていただきます。  
続いて、次第7の「美術の森緑地整備」について、説明をお願いします。

<「美術の森緑地整備」について説明。 小金井文化・生涯学習課長>

会長：「美術の森緑地整備」について何かありますか。

会長：質問がなければ、了承とさせていただきます。  
以上で、本日の議事については、終了します。  
つぎに、次第8の「その他」に入ります。事務局から何かありますか。

館長：特にありません。

会長：それでは、以上で本日の運営協議会は終了といたします。  
次回は2月か3月頃の開催を予定しております。  
長時間、ご協力ありがとうございました。